

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市新橋地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

- ・ 自然も起伏も富んでいて、年間行事も含め町が一体となって老若男女、障がい者と温かい交流を続けている新橋地区。地域が広く人口も多いものの、単位町内会ごとのより身近なサロン活動やちょこっとボランティア的なサポートシステムを開始するなどしている中川地区。インターネットも利用しながら地域情報を積極的に開示していて急激な高齢化がすすむ緑園地区まで、それぞれ特徴も違います。
- ・ どの地域においても連合自治会・地区社会福祉協議会・民生児童委員協議会が中心となり、主体的に上記課題解決のための支援活動、啓発を行っており、熱意のある地域です。昨年度は新たに始まった生活支援体制整備事業により新たな地域の担い手発掘・資源創出のためのアセスメントをすすめ、各地区民生委員の変更などあり、改めてケアプラザと顔の見える関係作りを強化しています。
- ・ そのようななか、地域課題として見えてきた、意欲のある地域住民が、つながる場やきっかけがないこと、特に高齢者の孤立がありました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 地区社協や地域のイベント、各種連絡会や地域サロンに出向きそれぞれが持つ強みを収集、自主事業などで地域への情報提供・適切な支援に努めました。
- ・ 高齢分野では、近隣に山坂が多く、来館できる方に制限があるため、出張講座を多く実施しました。
- ・ 子育て分野では泉区地域子育て支援拠点すきっぷと連携しながら、公園遊びの指導者を紹介する等ニーズへの適切な支援を行いました。第1回緑園キッズフェスティバル後方支援では、情報コーナーを担当し、緑園東小学校の市民図書室を紹介しました。
- ・ 障害分野では近隣事業所ケアマネジャーと連携し、障害事業所で利用者作品販売するなど自己実現の場を作るのコーディネートをしました。
- ・ 上記3分野で一人ひとり活躍できる機会作り、生活に困難さを抱えている方が自分らしく過ごせる地域づくりを実施しています。
- ・ 職種間で各自の取組みを6職種会議や常勤会議、議事録の回覧、その他適宜共有する機会を作りました。

(3) 各事業の連携

- ・ 包括、生活 Co 中心に朝のケース共有を実施し、支援の方向性を確認しています。個別支援で3職種がアセスメントを行い地域との連携を求められるケースは5職種で検討、インフォーマルサービスを地域 Co が生活 Co が移送サービスや認知症カフェ等社会資源創出を行いました。
- ・ 包括で把握した認知症の困難ケースについて6職種協働で地域ケア会議を開催し地域へ課題共有、サポート体制構築をすすめました。
- ・ 泉区近隣に拠点を持つデイサービス事業会社の利用者作品展示発表会行う場所が閉鎖され、包括に相談があり、新橋ケアプラザで初めて法人登録となり、11月に展示発表会が実施されました。
- ・ 地域課題である移送支援、担い手コーディネート、高齢者の食事・交流の場作りのトライアルとして実施したお食事処けあぷらざでは生活・地域 Co、包括スタッフとケアプラザ内ケアマネジャー、送迎や調理、演奏のボランティアにより企画され、2回計実施しています。
- ・ 12月実施のまつりでは各事業実行委員形式で企画し、介護予防や地域参加、子育て支援の場等を設け多くの住民が来館しています。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ 適切な人員配置を行うべく法人本部と人材募集、移動の調整・育成を行ったが欠員を0にすることはできていません。引き続き本部と連携し対応します。
- ・ 5月にケアプラザの成り立ちやスタッフに求められていることについて知ること、10月に運営協議会資料から今の各事業の流れを確認することを目的として指定管理部分スタッフ全体研修会を実施しました。12月には業務から地域の暮らしを考える、リスクマネジメントについての法人スタッフ研修を実施しています。
- ・ 地域・包括・居宅スタッフミーティングで事例検討を実施しています。
- ・ 外部研修については参加報告書を回覧するなど他スタッフにフィードバックしています。
- ・ 相談時介護保険サービスについては本人家族の意向を伺い、特にケアマネジャー選定時は必要サービス、男女等要望からハートページを使用し複数提案、自己選択・決定に資することを基本として支援しています。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 各地区社協の会合に継続参加し、社協イベントのチラシ作成支援を行っています。中川（体操教室、里山プロジェクト、ライフサポート隊）、緑園（キッズフェスティバル、研修会）、新橋（地域散策、コミュニティしんばし食堂）。
- ・ 子育てネットワーク連絡会を2ヶ月に1度のペースで行っています。3連合とエリアが広いこともあり、全体会では中川・緑園・新橋の各エリア同士で顔がわかることを意識した構成としました。
- ・ 地域包括で課題となった移動困難者支援のため、地区社協・民生が主催する各エリアの一人暮らし高齢者食事会で地域の社会福祉法人とネットワークを組み参加者の移送支援を実施しました。
- ・ 認知症当事者や家族、地域住民、医療福祉関係者がタスキをつなぐ「ラン伴」イベントの説明会を実施。エリア内の特養、小規模多機能、グループホームなど福祉施設が参加し、実際イベントにも参加しています。
- ・ 団体交流会（8月）、団体大掃除（12月）の継続実施をし、地区社協等地域団体と貸し館団体のつながりを拡大しました。

(6) 区行政との協働

- ・ 3 連合それぞれの地域行事、サロンに参加し、支援チーム会議で情報共有しています。
- ・ 第三期地域福祉保健計画目標「支えあい、助け合いが活きる！元気のあるまち泉」3つの柱に則り地域ニーズを分析、必要な情報を提供、支援につなげることを心がけています。包括では区と月1回のカンファレンスや必要に応じたケース検討で区と共有しました。地域交流はでは支援チーム会議や地域の会議で情報・課題共有、支援方針の確立を行いました。また介護予防、権利擁護等区の事業を共に開催しました。地域福祉保健計画推進協議会参加や、泉区地域福祉保健計画推進イベントにも協力しています。
- ・ 泉区ふれあい祭に参加し、地域ケアプラザの紹介を行っています。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ 妻の介護が必要となった時に備えて、夫や夫婦の要望のあった男性料理教室を泉区食生活等改善推進員の協力で今年も開催しました。
- ・ 小中学生を対象とした横浜市の調査で8割の子が危険ドラッグを手に入れられるとの報告から、夏休み前に親子を対象とした危険ドラッグ防止講座を泉区薬剤師会と中川連町青少年事業部の協力の下実施しています。
- ・ 障害児の余暇支援、親のレスパイトを目的とした事業（ジュニアフレンド）でボーリング場に行きボーリング大会を実施しました。
- ・ 子どもを対象としたお菓子作りをお菓子喰人（貸室団体）の協力で、2年連続実施しました。参加希望多数の人気講座でした。
- ・ ケアプラザまつり（ありがとうまつり）は、「笑顔が地域福祉につながる」をテーマとし、体験知の喜び（笑顔）があるプログラムを構成しました。区社協から高齢者体験キットを、区役所子ども家庭支援課から妊婦体験キットを借りて実施したり、薬剤師会から健康測定、市職員による演奏会の開催もしました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 貸館利用率向上に向けて、登録団体増を見込んだ広報活動を実施したり自主事業の回数増、連続講座の実施、地域との会合で増加しています。（利用件数前年比102.7%、登録団体数⇒1団体減・6団体増・・・第3四半期まで）。
- ・ 自主事業を実施する際は、広報誌や単独チラシをつくり、町内会回覧・掲示板や館内掲示、ブログ、地区社協での案内に加え企画に応じてダイレクトメールを出して周知をしました。
- ・ 玄関のガラスケースをこれまでデイサービス利用者の作品を展示してきましたが、地域の個人や団体の作品を募集し展示するようにしました。作品を楽しみにしてくれる人も増え、館内の活性化につながっています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア名簿の整備を行いました。
- ・団体文化祭を初めて実施。地域住民及び、サロンや福祉施設向けにボランティア団体のお披露目会を行っています。福祉施設から参加団体のボラ要請がありコーディネートしました。
- ・区社協ボランティアセンター実施の、緑園西小学校小4対象にした高齢者体験会をサポートしました。
- ・緑園地区の子育てサークルの会員募集支援をしました。
- ・中川地区・新橋地区のちょいボラスタッフ募集支援をしています。
- ・ボランティア研修会へ参加しました。
- ・生活 Co と担い手講座を開催し、ボランティアの継続支援をしています。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・エリア内の各種会議、サロン、まつりなど地域行事、地区社協主催行事に6職種で連携しながら、ほぼ全てに参加し情報収集するとともに、報告書や6職種会議、常勤会議を通じて所内共有を行っています。
- ・貸館団体交流会を8/18に実施しました。
- ・昨年の団体交流会で団体の活動発表の場がほしいとのニーズをつかみ、団体文化祭を11/23に実施しています。
- ・広報誌を3ヶ月に1度発行しています。さらにケアプラザ事業の広報に留まらず、「地域づくりの取組み」や薬物乱用防止のポイント、神奈川県域のラン伴イベントの紹介などメッセージを込めた情報発信を心がけました。
- ・情報発信ツールとしてホームページ（ブログ）を12月末現在で13回アップしました。
- ・地域の情報を知るツールとしてタウンニュースを見ている人が多いことを受け、ケアプラザでタウンニュースの配架を8月より行っています。新聞を取らない人が増えている中で、折込みで配布している為、配布スポットとなっています。この繋がりから、中川地区の里山プロジェクト芋煮会の様子を誌面に取上げていただけました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・概ね3ヶ月ごとに5職種で地域課題について検討を行ない、支援方針を確認し、事業の進捗を確認しました。
- ・個別ニーズ分析を包括3職種が担い、そのニーズに基づいて、生活支援C0が移送・拠点づくりを目指す地域支援を個別に担当。これら活動の地域への広報を地域交流C0が担いました。
- ・広報誌しんばしへ毎号生活支援体制整備事業の紹介を行ないました。
- ・概ね月1回区・区社協・他ケアプラザとの連絡会に参加し、情報共有を行ないました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・総合相談・要支援認定者のニーズ分析を行ない、運営協議会にて地域とも共有しました。
- ・一昨年度行なった住民支え合いマップから、孤立している高齢者のニーズが大きいことに気づき、拠点づくりを担いたい新たな住民グループの立ち上げ支援を行ないました。
- ・地域活動・サービスリストに連合ごとの地域情報を追記しました。エリア内で生活支援サービスに取り組む事業者をインフォーマルファイルに追記整理しました。

- ・ ケアマネジメントに地域資源を活用できるようケアプラザ内ケアマネジャーへ情報提供し、利用につながりました。
- ・ 中川地域の認知症サポーターの組織化、新橋地域の移送サービスの実証実験、新橋地区・緑園地区の拠点づくりプロジェクトをそれぞれのエリア特性・実状に合わせて地域住民主体が推進できるよう支援しました。

(3) 連携・協議の場

- ・ 地区社会福祉協議会、活性化員会、民生委員児童委員協議会へ参加し、地域課題とそれに対する取り組みを報告し、担い手の確保を行ないました。
- ・ 協議体を開催し、移送サービスへのニーズを地域住民・事業者と共有し、課題分析および試行を行ないました。協議体へは移送サービスに関心のある企業の参加も得ました。
- ・ フェリス女学院講義へゲストスピーカーとして参加し、緑園地域の課題を共有しました。地域住民と共に担い手として活動したいという学生と連携していくことになりました。
- ・ 担い手講座をエリア内 NPO と共催し、主講座 2 回・継続講座 5 回を行ない、エリア全体の課題を共有・協議する場を作ることができました。拠点づくりプロジェクト 2 つと移送サービスプロジェクト 1 つが活動中です。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 区域で共通する移送サービスの課題について個別に他ケアプラザと情報共有を行ないました。
- ・ 移送サービスについては、推進する地域住民より社会福祉法人所有車両の活用については、区域で取組み方法を検討するべきとの提案があり、区社協 1 層コーディネーターへ報告し、区域で取り組む事業となるよう取り組んでいきます。
- ・ 拠点づくりについては、様々な地域内トラブルに直面し、状況を区・区社協へ報告するとともに、解決方法について助言をもらい、対応いたしました。
- ・ 区社協および 6 包括で開催した担い手発掘講座の企画・運営に参加し、担い手の必要性についてエリア内の課題として取り組みました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ 地域・事業者から寄せられる情報をファイルにリスト化し、資源マップへ順次落とし込みをしています。
- ・ 月 2 回程度、地域会合や関係機関へ訪問し、詐欺防止・総合事業・介護予防等、総合相談で多く相談が寄せられ、地域で課題とされた内容を寸劇にし、地域住民とともに考える街の駅出張講座として行ないました。これまで関係が難しかった新橋地区シニアクラブにも出向く事ができました。
- ・ 地域ケア会議を通して孤立する高齢者の支援について地域住民・専門職が共に考えることができ、個別支援への直接的な協力を得ることができました。
- ・ ヤクルトと朝日新聞とは個別対応で協力関係をつくりました。ヤクルトは気になる顧客に包括チラシを配布することになり、朝日新聞からは通報を受け、孤独死の発見につながりました。
- ・ 薬剤師会がケアプラザエリアごとに薬局をグループ化したことから、ありがとうまつりや地域ケア会議に薬剤師の参加が広がりました。薬局で包括のチラシを配布してもらい、個別支援の時には支援チームとして参加して頂きます。

- ・介護予防関係団体の連絡会を立ち上げました。

② 実態把握

- ・各種統計資料から圏域の情報収集をし、運営協議会や地域で開催する講座で地域と共有しました。
- ・要支援認定者や総合相談から圏域の情報を整理し、運協と圏域レベル地域ケア会議、緑園地区活性化委員会でフィードバックしました。
- ・総合相談ニーズからインフォーマルサービスを調査し、リストに追加しました。

③ 総合相談支援

- ・地域・事業者から寄せられる相談内容を、朝ミーティングでニーズ分析・支援計画の決定を行ないました。継続的なフォローが必要なケースは主担当者を決め、訪問計画を立案しました。
- ・相談者には介護保険サービスのみでなく、介護予防事業や地域資源・関係機関・制度へつなぎました。
- ・総合相談の分析結果は一覧表で整理し、介護特に認知症への不安解消・情報提供のニーズが多かったことから、専門職と地域住民が共に気軽に認知症に関して話し合える場として認知症カフェの立ち上げにつながりました。相談者の関心が高かったため、主体者となり、準備を進めています。その他、消費者被害への不安も多く、街の駅講座として寸劇で事業化しました。緑園高校と県警との協働事業も行ないました。
- ・相談ニーズ表は地域交流・生活支援・所長と包括3職種で共有しています。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・成年後見制度支援フローに従い、区長申立への引継ぎ、任意後見希望の関係機関へのつなぎ、および親族申し立て支援を行ない、家裁への同行をしました。これに伴いリーガルサポート・ぱあとと連携しました。
- ・警察と消費者総合センターと情報共有し、寸劇を活用してシニアクラブ会合、地域サロン、緑園地区防犯大会で啓発事業を行ないました。
- ・警察と緑園高校とのコラボレーション企画 詐欺防止の寸劇を地域とともに普及啓発をいたしました。
- ・地域から消費者被害の情報を得られるよう住民に働きかけ、得られた情報を警察と共有し、広報誌にて地域へ周知いたしました。

② 高齢者虐待への対応

- ・総合相談から虐待に関わる継続ケースの対応をいたしました。
- ・総合相談で虐待の疑われる養護者に対し、概ね月1回行なっている介護者のつどいを紹介しました。介護者のつどいのなかで、「手をあげてしまう」といった訴えがあったケースは個別相談へつなげ、未然防止および早期解決へつなげました。

③ 認知症

- ・ 認知症サポーター養成講座を単位自治会・高齢者施設との連携・小学校・地区社協研修会にて、年間10回行ないました。その他、区と協働講座を4回行ないました。養成講座では、早期相談につながるよう相談窓口の紹介を丁寧に行ないました。
- ・ 地域ケア会議から、認知症の方を理解する場を広げるとともに、早期発見・対応の機会拡大につなげることができる、地域・専門職がともに認知症を考える場づくりとして、認知症カフェ開催を決定。総合相談からボランティアとして活動したいという担い手を発掘し、住民とケアプラザ共催で講座を開催しました。講座では、ボランティアをさらに募集し、集まったボランティアとともに来年度からケアプラザにて認知症カフェ立ち上げを行なっていくことになったため、その後方支援をしています。ボランティアの話し合いは1月から月1回行ないます。
- ・ 中川認知症サポート連絡会事務局を担当し、サポーターのネットワーク化を支援しました。グループホームでの研修や介護者のつどいと連携し、家族や本人の気持ちをサポーターが学ぶ機会を作り出しました。
- ・ 介護者のつどいを概ね月1回行ない、毎回ゲストスピーカーに認知症対応のポイントを話題提供していただきました。
- ・ 概ね3ヶ月に1回、新橋地域ケアプラザエリア内キャラバンメイト連絡会を開催し、メイト同士の資質向上やサポーター養成講座の内容検討を行ないました。
- ・ 認知症初期集中支援チームへ2事例提供し、連携して支援を行なっています。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 総合相談やケアマネジャーから情報収集し、地域活動・サービスリストへ記入しました。
- ・ ケアマネジャーからのインフォーマルサービスについての問い合わせに、リスト・ファイルを活用して支援を行ないました。
- ・ 街の駅講座として改正介護保険法講座を地域サロン・シニアクラブで3回行なっています。
- ・ 介護事業者、医療関係者、民生委員との情報共有のための連絡会開催に向けて調整を行なっています。
- ・ 中川地区助けあいに参加し、見守りについて情報収集をしました。新橋地区助けあいは新たな立上げ支援を行ない、10月より活動開始しました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 介護事業者、医療関係者、民生委員との情報交換会準備を行ないました。
- ・ エリア内薬局の個別訪問を行ない、包括チラシを置いてもらい、ニーズのある方へ配っていただくようにしました。
- ・ 在宅医療連携拠点と連携し、地域サロンと地区社協研修会にて講座を行ないました。
- ・ 多職種連携会議に参加しました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ 困難ケースのカンファレンスを多職種で行ないました。
- ・ ケアマネジメントへ地域資源を活用し、地域と共に支援する体制整備のため、担当者会議・事例検討会および個別相談で、ケアマネジャーへ助言しました。
- ・ 新人ケアマネジャー研修を行ないました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 個別ケア会議を半期2回計4回、圏域地域ケア会議を半期に1回計2回行ないました。各回介護事業関係者・医療関係者・法律関係者・地域住民・企業等が参加し、多職種での検討を行ないました。支援の方向性が広がり、ケアマネジャーから参考になったという評価を頂いています。
- ・ ケア会議の後は毎回ふりかえりを行ない、次回方針を区・区社協とともに検討しました。
- ・ 包括レベル地域ケア会議で取り上げた認知症の方への支援から認知症サポーター活動の充実が提案としてあがり、認知症カフェの取り組みにつながっています。
- ・ 個別ケア会議から、移動困難な方への支援がニーズとなり、移送サービスを検討する協議体の参加メンバーに加わり、資源開発の検討を行なっています。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 泉区内6包括と区共催で、介護予防ケアマネジメント研修を下半期に1回実施しました。
- ・ 3職種で計29回（H30.1.10現在）委託ケースの担当者会議に出席、事業対象者・要支援者の主体性と意欲を引き出せるような目標設定とプラン作りについてアドバイスを行いました。
- ・ 介護保険外の住民主体の体操教室やサロン（元気づくりSTや体操教室）、サービスBを組み込んだプラン作りを行いました。
- ・ 個別レベルの地域ケア会議でリハ専門職のアドバイスを元に、外出支援として地域住民が付き添いを行えるように、支援計画を話し合いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 高齢者サロンや食事会への出前講座を通して、ロコモ予防始め、社会参加を通じた介護予防の重要性について普及啓発を行い、合わせてどんなニーズがあるか情報収集を行いました。
- ・ 前年度立ち上がった2箇所元気づくりST、体操教室の継続支援として、担い手間の関係調整、指導者の活動支援等、後方支援を行っています。
- ・ 介護予防担い手連絡会のキックオフ講座として、地域組織の担い手対象の勉強会を企画しました。
- ・ ふまねっとサポーター（介護予防の担い手）の情報交換会の企画、後方支援を行いました。
- ・ ボールを使った運動講座の自主活動化に向け、後方支援を行いました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 業者委託による定期清掃・設備点検・夜間警備とともに、スタッフによる日常の清掃、チェックを行いました。
- ・ 館内・事務所・倉庫について整理整頓を行いました。
- ・ 玄関外では季節の花のプランター、一部ゴーヤの植え付け等壁面緑化としての緑を管理し、来館者に落ち着いた空間を提供しました。
- ・ デイサービス利用者・ボランティアによる野菜作りも含め、四季の動きのある緑の環境を維持しました。
- ・ 定期的な雑草取り、年1回業者による樹木の消毒を実施しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 合築のコミュニティハウスとも協力し、LED電灯の優先的な点灯や、不要な電気のコまめな消灯等節電に努めました。
- ・ 印刷時の裏紙利用、両面印刷、法人でのサーバー共有による印刷物の無駄を省いています。
- ・ 経理や給与・総務事務の一部を本部に委託することで法人全体での業務効率化を図っています。社会保険事務も一部法人内作化をしました。
- ・ 複合施設として、デイサービス部門・新橋コミュニティハウスとの費用按分などは覚書を基に適切に管理しています。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付窓口や解決責任者、苦情解決第三者委員を施設内に掲示し周知しています。
- ・ 第三者委員に報告すべき案件はありませんでした。
- ・ 利用者に対しては重要事項説明書に記載し、了解が得られるよう説明を行っています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 9月と3月に防災訓練を実施し、災害時対応についての意識強化を図っています。
- ・ 新橋連合自治会と協働して、地域防災拠点運営委員会に出席し、有事の際にはケアプラザと地域がどのように連携するかを確認しました。

(5) 事故防止への取組について

- ・ 事故対応及び予防規程に則り、事故事例、ひやりはっと事例を報告書として作成し情報の共有・改善策の検討をその都度実施しています。
- ・ 事故予防・事故対応・安全運転について3月に全体研修を実施しています。
- ・ 設備総合巡視点検業者、スタッフで危険個所の点検を行い、適宜改善しています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 29年度は個人情報漏洩事故が発生しているため、各職種ミーティングで取り扱いについて再度確認、事故防止を注意喚起しました。
- ・ 個人情報・プライバシー保護について3月に法人全体で研修を実施しました。
- ・ 研修として個人情報漏えい防止チェックシートを実施しました。
- ・ 個人ファイルを入れる書棚の施錠チェックを毎日実施しています。
- ・ 館内には法人の個人情報取り扱い方針を掲示し継続して周知を図っています。
- ・ 事業所内のパソコンは全てパスワード管理し、部外者がアクセスできないように継続して管理しています。
- ・ 入職時・退職時には個人情報保護についての誓約書を取り交わしています。

(7) 情報公開への取組について

- ・ 法人ホームページで法人内全事業所の概要から活動状況を掲載しています。当ケアプラザの広報誌、自主事業のお知らせ、事業報告等をブログで掲載し、また自治会のホームページにもリンクを貼っていただくことでより広く地域住民に情報公開できました。
- ・ 年4回広報誌を発行し、関係機関や地域住民に今後の事業予定、事業報告や地域の情報を掲載し情報発信しました。
- ・ 交流ロビーには理事会資料を閲覧可能にしており、法人全体の事業計画・事業報告・会計報告等を開示しています。
- ・ 介護保険事業（居宅介護支援）については介護サービス情報の公表制度に則り運営状況等をかながわ福祉サービス振興会のホームページに掲載しています。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 人権について、3月に非常勤を含む法人全体研修を実施しました。
- ・ 障害者差別解消法による合理的配慮について職員全体に注意喚起しました。
- ・ 高齢者・障害者・児童などの虐待防止に関する掲示物・配架物は積極的に住民の目に届くよう配置しています。またスタッフ内への回覧も積極的に行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 紙類、段ボール、燃えないゴミや缶等分別を徹底しています。
- ・ コピー用紙や個人情報のないFAX受信紙の裏紙利用をすすめるとともに社内メールでの情報資料共有、法人共有サーバー利用により無駄な印刷を減らし効率化を継続的にすすめています。
- ・ 毎日点灯する交流ロビーや事務室はLED電灯に替えています。ほかこまめな消灯、エアコンのON/OFFをスタッフに意識させ節電を図っています。
- ・ 適宜電動自転車及び公共交通機関を利用することよりガソリン等省エネルギー・排ガス削減に努めました。
- ・ 夏に館外の一部にゴーヤや朝顔を育て、建物の温度抑制に取り組みました。また壁面緑化やプランターなどで緑の多い環境作りに努めました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・保健師（常勤1）、主任ケアマネージャー（常勤2）、
社会福祉士（常勤1）、予防プラン担当介護支援専門員（非常勤3）

《目標に対する成果等》

- ・泉区内6包括と区共催で、介護予防ケアマネジメント研修を下半期に1回実施しました。
- ・3職種で計29回（H30.1.10現在）委託ケースの担当者会議に出席、事業対象者・要支援者の主体性と意欲を引き出せるような目標設定とプラン作りについてアドバイスを行いました。
- ・介護保険外の住民主体の体操教室やサロン（元気づくりSTや体操教室）、サービスBを組み込んだプラン作りを行いました。
- ・個別レベルの地域ケア会議でリハ専門職のアドバイスを元に、外出支援として地域住民が付き添いを行えるように、支援計画を話し合いました。
- ・プラン作成では要介護状態になる時期を少しでも遅らせるよう支援をしています。また介護予防・日常生活支援総合事業に則り、インフォーマル含め適切なケアマネジメントに努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ケアプラザ内の他事業や他機関と連携し、要介護リスクのある方の発掘とその方の支援をしています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
301	317	334	315	313	315
10月	11月	12月	1月	2月	3月
330	329	329	330	323	329

●居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤専従 1名
 常勤兼務 1名
 非常勤専従 2名

《目標に対する成果等》

- ・“個別支援”をテーマに掲げ、研修を含めたスキルアップを行いました。
- ・サービス利用状況と効果を適切に把握しています。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・包括支援センターと連携し、成年後見などの権利擁護ケース、虐待ケースに取り組みました。
- ・地域活動交流事業や生活支援体制整備事業とも連携し、利用者の状況と地域のフォーマル・インフォーマルサービスとが有機的に取り込めるよう支援をしています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
61	69	76	69	76	71
10月	11月	12月	1月	2月	3月
67	72	77	73	88	80

《提供するサービス内容》

-
-
-

デイサービスが指定管理業務外・委託範囲外の場合（未実施含む）は記載不要です。公表の際わかりやすいように、事業名の後に太字でデイサービスなし or 対象外と記載してください

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 円
 - （要介護2） 円
 - （要介護3） 円
 - （要介護4） 円
 - （要介護5） 円
- 食費負担 円
-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

●介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護<対象外>

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（事業対象者）	円
（要支援1）	円
（要支援2）	円
- 食費負担

	円
--	---

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

**平成29年度「新橋地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,676,594	685,308	16,991,286	16,991,286	0	横浜市より
利用料金収入	2,000		2,000		2,000	
指定管理料充当 事業	0		0	16,530	16,530	
自主事業収入			0		0	
雑入	90,000	0	90,000	89,933	67	
印刷代	90,000		90,000	89,933	67	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,768,594	685,308	17,083,286	17,097,749	14,463	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,520,000	0	10,520,000	10,530,011	10,011	
本俸	8,235,700		8,235,700	8,404,494	168,794	
社会保険料	700,000		700,000	672,427	27,573	
手当計	1,257,300		1,257,300	1,163,041	94,259	
健康診断費	40,000		40,000	12,632	27,368	
勤労者福祉共済掛金	48,000		48,000	43,751	4,249	ハッピーふれんど
退職給付引当金繰入額	239,000		239,000	233,666	5,334	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,229,143	0	1,229,143	3,546,970	2,317,827	
旅費	11,000		11,000	15,123	4,123	
消耗品費	130,000		130,000	308,694	178,694	
会議購い費	10,000		10,000	9,770	230	
印刷製本費	200,000		200,000	333,121	133,121	
通信費	200,000		200,000	313,761	113,761	
使用料及び賃借料	0	0	0	43,166	43,166	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	43,166	43,166	
備品購入費	0		0	695,280	695,280	
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	
施設賠償責任保険	18,000		18,000	77,932	59,932	
職員等研修費	41,000		41,000	19,756	21,244	
振込手数料	16,000		16,000	19,925	3,925	
リース料	350,000		350,000	0	350,000	
手数料	0		0	325,800	325,800	
地域協力費	72,000		72,000	0	72,000	
その他	176,143		176,143	1,384,642	1,208,499	
事業費	853,429	0	853,429	179,165	674,264	
運営協議会経費	42,000		42,000	30,085	11,915	予算:指定額
指定管理料充当 事業	811,429		811,429	149,080	662,349	
管理費	4,324,422	0	4,324,422	3,183,672	1,140,750	
建築物・建築設備点検	484,364		484,364	230,364	254,000	予算:指定額
光熱水費	1,398,000	0	1,398,000	1,473,007	75,007	
電気料金	592,000		592,000	618,663	26,663	
ガス料金	16,000		16,000	14,730	1,270	
水道料金	790,000		790,000	839,614	49,614	
清掃費	566,000		566,000	544,249	21,751	
修繕費	474,000	0	474,000	42,692	431,308	予算:指定額
機械整備費	86,000		86,000	86,138	138	
設備保全費	627,500	0	627,500	676,379	48,879	
空調衛生設備保守	145,000		145,000	145,801	801	
消防設備保守	24,000		24,000	24,228	228	
電気設備保守	50,000		50,000	46,892	3,108	
害虫駆除清掃保守	3,500		3,500	22,101	18,601	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	405,000		405,000	437,357	32,357	
共益費	0		0	0	0	
その他	688,558		688,558	130,843	557,715	
公租公課	841,600	0	841,600	842,400	800	
事業所税			0		0	
消費税	841,600		841,600	842,400	800	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	17,768,594	0	17,768,594	18,282,218	513,624	
差引	0	685,308	685,308	1,184,469	499,161	

自主事業費収入	811,429		811,429	0	811,429	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	811,429		811,429	149,080	662,349	
自主事業収支	0	0	0	149,080	149,080	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「新橋地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	34,117,184	560,144	33,557,040	33,557,040	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	1,600,885	4,188,115	4,188,115	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	40,057,184	2,161,029	37,896,155	37,896,155	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	36,500,000	0	36,500,000	26,007,431	10,492,569	
本俸	25,324,100		25,324,100	16,364,352	8,959,748	
社会保険料	3,000,000		3,000,000	2,997,570	2,430	
手当計	6,914,900		6,914,900	5,636,191	1,278,709	
健康診断費	40,000		40,000	16,715	23,285	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000	40,251	16,251	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,197,000		1,197,000	952,352	244,648	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,156,115	0	1,156,115	4,169,835	3,013,720	
旅費	40,000		40,000	79,437	39,437	
消耗品費	150,000		150,000	139,414	10,586	
会議購い費	0		0	2,209	2,209	
印刷製本費	16,000		16,000	237,501	221,501	
通信費	300,000		300,000	461,875	161,875	
使用料及び賃借料	0	0	0	43,142	43,142	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	43,142	43,142	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	25,000		25,000	0	25,000	
施設賠償責任保険	21,000		21,000	91,370	70,370	
職員等研修費	36,000		36,000	114,908	78,908	
振込手数料	16,000		16,000	20,875	4,875	
リース料	330,000		330,000	0	330,000	
手数料	0		0	325,800	325,800	
地域協力費	3,000		3,000	0	3,000	
その他	219,115		219,115	2,653,304	2,434,189	
事業費	1,303,943	0	1,303,943	700,765	603,178	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	213,943		213,943	70,640	143,303	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	139,664	11,336	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	238,461	70,539	予算:指定額
管理費	968,400	0	1,097,126	846,280	250,846	
建築物・建築設備点検	128,726		128,726	61,236	67,490	予算:指定額
光熱水費	371,000	0	371,000	391,558	20,558	
電気料金	157,000		157,000	164,454	7,454	
ガス料金	4,000		4,000	3,916	84	
水道料金	210,000		210,000	223,188	13,188	
清掃費	150,000		150,000	144,672	5,328	
修繕費	126,000		126,000	11,346	114,654	予算:指定額
機械警備費	23,000		23,000	22,897	103	
設備保全費	170,500	0	170,500	179,792	9,292	
空調衛生設備保守	38,000		38,000	38,756	756	
消防設備保守	6,500		6,500	6,440	60	
電気設備保守	13,000		13,000	12,464	536	
害虫駆除清掃保守	1,000		1,000	5,874	4,874	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	112,000		112,000	116,258	4,258	
共益費	0		0	0	0	
その他	127,900		127,900	34,779	93,121	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税				0	0	
消費税	0			0	0	
印紙税				0	0	
その他()				0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分				0	0	
当該施設分				0	0	
二一ス対応費				0	0	
支出合計	39,928,458	0	40,057,184	31,724,311	8,332,873	
差引	128,726	2,161,029	2,161,029	6,171,844	8,332,873	

自主事業費収入	673,943			0		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	673,943			448,765		
自主事業収支	0			448,765		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名：新橋地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位：千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	10975	7631		
	その他	8122	1243	0	0
	介護予防ケアマネジメント 費	8122	1205		
	事業・負担金収入				
	その他		38		
収入合計(A)		19097	8874	0	0
支出	人件費	3114	8247		
	事務費	81	325		
	事業費	23	91		
	管理費	148	37		
	その他	9896	0	0	0
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料	9896			
	その他				
支出合計(B)		13262	8700	0	0
収支 (A)－(B)		5835	174	0	0

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市新橋地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
街の駅 出前講座	地域住民	10000	地活	10000			10000	
	1,336名		包括					
	0		生活					
介護者のつどい	地域住民	8000	地活	8000			8000	
	62名		包括					
	0		生活					
街の駅 出張相談	高齢者	0	地活					
	92名		包括					
	0		生活					
認知症サポーター養成講座	地域住民	0	地活					
	241名		包括					
	0		生活					
地域×ビジネス=社会貢献～住民が創り、住民が使う福祉サービスの始まり～	地域住民	179720	地活	179720			116370	63350
	329名		包括					
	0		生活					
お食事処 けあぶらざ	高齢者	3735	地活	3735			3735	
	67名		包括					
	0(500)		生活					
塩野家サロン立ち上げプロジェクト(仮称)	地域住民	4696	地活	4696				4696
	63名		包括					
	0		生活					
助けあい めくもり隊	地域住民	0	地活					
	53名		包括					
	0		生活					
あそびのひろばSunday	子ども	39960	地活	39960				39960
	24名		包括					
	0		生活					
福祉のパン屋さん	地域住民	0	地活					
	2,655名		包括					
	0		生活					
福祉の図書コーナー	地域住民	7364	地活	7364				7364
	3,039名		包括					
	0		生活					
泉区障がい児余暇活動支援事業ジュニアフレンド	障害児	0	地活					
	64名		包括					
	0		生活					
地域の架け橋なないろふうせん	地域住民	4736	地活	2336	2400		4736	
	18名		包括					
	200		生活					
男性料理教室	地域住民	8953	地活	1423	7530		8953	
	31名		包括					
	1500		生活					
福祉教育	地域住民	0	地活					
	48名		包括					
	0		生活					
団体交流会	地域住民	3185	地活	3185				3185
	18名		包括					
	0		生活					
オレンジカフェ立ち上げPJ	高齢者	46969	地活	46969			38979	7990
	82名		包括					
	0		生活					

平成29年度 自主事業収支報告書

団体文化祭(なないろさい)	地域住民	3185	地活	3185					3185
	110名		包括						
	0		生活						
団体大掃除	地域住民	2980	地活	2980					2980
	32名		包括						
	0		生活						
ありがとうまつり	地域住民	77949	地活	71349	6600			12727	65222
	600名		包括						
	300		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市新橋地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
街の駅 出前講座	総合相談等から把握した課題を地域と共有するとともに、解決のため協働してもらえるよう働きかける。 <主な活動場所>中川地区社協のなごみの広場・ 緑園地区サロン、 新橋ひとり暮らし食事会・中川ふれあい祭り・老人クラブ・自治会サロンなど	28回・1336人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者の情報交換・悩み共有等ピアサポート。虐待防止支援4月テーマ「気分転換はどうしているのか」9名参加 5月公開講座「変わる常識認知症介護」14名（ゲストスピーカー レストヴィラ弥生台） 6月テーマ「お互いの情報交換」2名（ゲストスピーカー アカシア） など	10回・62人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
街の駅 出張相談	ケアプラザが交通不便な場所にあり、相談に来られない住民に相談する機会を広げる。出前ミニ講座のsとで相談できる時間を設定した。	23回・92人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	地域住民に認知症への理解普及啓発と対応方法を伝える。講座終了したサポーターには登録してもらい、認知症支援の担い手として活躍してもらおう。 4月22日けいあいの郷 13名 6月17日ラビーレ弥生台 6名 10月6日西が岡自治会 17名 10月23日泉区消防32名 12月2日だんだんの樹 8名 12月4日緑園西小 74名 親善HP2月14日50名 親善HP3月17日28名	9回・241人

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域×ビジネス=社会貢献～住民が創り、住民が使う福祉サービスの始まり～	社会背景を理解し、地域包括ケアシステムに貢献しちと考える住民を広げる。第一回 5月27日 年金・医療・介護の制度改革の背景、それがもたらす社会や個人生活への影響、2015年までに整えておく地域風刺の共通ビジョンモデルを示す講座 第二回 6月10日 認定NPO法人 だんだんの樹 実践報告 福祉サービスを地域で始めたい人具体的な支援を行なう。	35回・329人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
お食事処 けあぷらざ	要支援認定者等で日中独居などでの孤食を解消する。通所サービスBとして発展できるようボランティアの養成を行なう。送迎サービスを福祉施設車両を活用して行なう実証実験とする。 6月11日新橋地域ケアプラザにて、ボランティアによる調理、配膳等で、要支援認定者を迎えて開催。送迎は新橋地域ケアプラザ車両を活用してボランティアに運転・添乗をお願いする。 10月22日	2回・67人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
塩野家サロン立ち上げプロジェクト(仮称)	高齢化が進み、交通が不便な自治会で、高齢者を中心に集まれる場所を創り、地域福祉の充実を目指す 提供を受け住みながらサロンを開催する。	12回・63人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
助けあいぬくもり隊	新橋地区の助け合いグループの立ち上げ 助けあいぬくもり隊の立ち上げ検討会の事務局を担当し、後方支援をおこなう。	通年 7回・53人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
あそびのひろば Sunday	親と子の向き合う場・情報交換・友達作り・気分転換の交流を目的として実施 親子向けに遊びの場、おもちゃの提供	11回・24人

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉のパン屋さん	ケアプラザやコミュニティハウスを利用している団体との交流や販売をきっかけにケアプラザに足を運んでもらう	通年 87回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉の図書コーナー	子供から高齢者までがパッと立ち寄り集える場の提供。そこから交流が始まる仲間が出来る事を目的とする	通年 345回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
泉区障がい児余暇活動支援事業 ジュニアフレンド	①学校と家庭の往復になりがちな障がい児に新たな出会いの場、生活経験を拡大できる場を提供し家族のゆとりある暮らしをサポートする。②障がいに理解のある地域のボランティア、学生ボランティアの育成を図る。③障がい児の親御さんの休息の時間をつくる。	2回・64人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の架け橋な ないろふうせん	地域全体大人も子供も世代を超えた交流を深め地域の繋がりを太くして行く。そのために春夏秋冬で多世代交流をテーマにした地域密着イベントを実施	1回・18人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性料理教室	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の外出機会を作る ・料理の仕方を学び、自宅でも自炊できるようになる ・作ったものをみんなで食べ、顔見知りになる 	2回・31人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育	ケアプラザによる地域向け福祉教育	2回・48人

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室の利用ルールの再度確認、注意事項の伝達。 ・新橋地域ケアプラザを利用している団体同士の交流機会。 ・地域における福祉保健活動従事者が増えるように働きかけ。 ☆茶話会 ☆ケアプラザからのお知らせ①イベントについて ②災害時の避難経路および特別避難場所について ③貸室利用のルール ④生活支援Coより生活支援体制整備事業について	1回・18人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
オレンジカフェ立ち上げPJ	認知症に関する相談が増加しており、情報が不足しているというニーズへ対応する。 本人・家族・地域・専門職が一堂に会し、認知症について日常的に話ができるカフェを開設する。7月13日打合せ 4名 8月2日視察 2名 11月22日キックオフ講座 1月から3月の第4土曜日準備会開催	6回・82人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体文化祭（なないろさい）	①貸室団体の活動性が発表 ②地域の施設・サロン運営者に向けたボランティアコーディネート場 ③団体活動に参加希望者の見学の場 団体発表会	1回・110人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体大掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・団体のボランティア機会 ・団体間・CP間交流 館内清掃	1回・32人
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ありがとうまつり	地域の方にまた1年間ささえていただいたことへの感謝を伝え、一層のコミハ・ケアプラザの周知を行い地域連携して繋がるため。全館上げてのまつり。	1回・600人